

2024(令和6)年度

社会福祉法人光風会事業計画

2024(令和6)年度社会福祉法人光風会事業計画

2023年度、精神障害地域ケア研究所「風(FOO)」(旧:生活支援センター「風(FOO)」)の地域活動支援センターⅠ型からⅡ型への委託事業変更に伴い、光風会の方針を下記のとおりとしました。この転換を着実のものとするべく、2024年度も引き続き、課題を整理しつつ活動を展開します。

社会福祉法人光風会の事業を進展させるにあたり、活動の原点・要点を箇条書きにします。

- 1985(昭和60)年 茨城県で最初の精神障害者共同作業所設立
- 「家族会」運動
- 1988(昭和63)年 茨城県精神障害地域ケア研究会(「茨精研・ICCAM」)の活動開始
- 「何色ですか?あなたのこころのサングラス」→差別・偏見の課題
 - 日本臨床心理学会や日本病院・地域精神医学会に継続参加
 - 「当事者運動」に学ぶ
- 2000(平成12)年 「茨精研・ICCAM」NPO法人認可
- 2001(平成13)年 社会福祉法人光風会設立認可
- 精神障害者地域生活支援センター「風(FOO)」開設
- 自主クラブ活動
 - ホームヘルプ研修会や社協研修会へのユーザー講師派遣(カミングアウト)
 - 各種啓発事業の展開
- 2003(平成15)年 笠間焼工房「陽(yoo)」開設
- 子どもの問題研究所開設
- ピアホームヘルプ試行事業
- 2007(平成19)年 地域活動センター「光(KOO)」開設
- 「精神障害者対応ガイドライン」作成

この後も様々な社会福祉制度改革に対応して事業を展開してきました。

原点は「差別・偏見の問題」と「当事者中心への支援」が主たる点検・検討課題であること、そして「研究」です。

2023年度、生活支援センター「風(FOO)」が地域活動支援センターⅠ型からⅡ型に変更となることを機に、活動重点方針を下記のとおりとします。

1. 「サービス」ではなく「活動」へ
 - ① 事業所名称の変更 … 「研究所」へ
 - ② 2拠点と4部門 … 会議図及び活動組織図参照
2. 「協働」の推進
 - ① 登録者の名称変更 … 「ユーザー」から「所員」へ
 - ② 所員の運営参加
3. 「研究」の重視
 - ① 当事者研究・カミングアウト活動の強化
 - ② 研究協力者の拡大 … 「茨精研・ICCAM」会員・学生

A. 法人本部

I. 理事会の開催予定

表 1 理事会の開催予定

月	日	曜	会議名	議案等
6	7	金	第13期 第4回理事会	前年度の事業報告及び決算報告
10	18	金	第13期 第5回理事会	上半期事業報告・財務状況報告
3	16	日	第13期 第6回理事会	次年度の事業計画及び当初予算

注) 理事会は、監事の参加を前提とするため、月日の変更がありうる。

II. 評議員会並びに評議員選任・解任委員会の開催予定

表 2 評議員会の開催予定

月	日	曜	会議名	議案等
6	23	日	2023(令和5)年度 定時評議員会	前年度の事業報告及び決算報告
3	16	日	第11期 第7回評議員会	次年度の事業計画及び当初予算

III. 監事による監査の実施予定

定款に定めるもののほか、その都度必要に応じて行う。

IV. 法人の運営・事務処理計画

1. 定款及び経理規程に従い事務処理を行う。
2. 毎月開催する「事務局会議」において、理事長及び業務執行理事並びに各理事が、業務執行状況を報告し、事業進捗状況及び予算執行状況を確認する。

V. 企画・点検

月間計画表及び年間計画表のとおり、事業内容を企画・点検する表3の会議を開催する。

表 3 会議概要

会議名	開催日	時間	内容	担当
オールスタッフ ミーティング(ASM)	4月1日 12月14日	—	全活動内容等を共有する会議 (全スタッフ参加)	高島
事務局会議	第4金曜日	9:00 ~11:30	法人運営に係る会議 (理事全員参加)	高島
運営会議	第1木曜日	10:00 ~12:00	所員・スタッフによる、拠点の運営 に関する会議(各拠点で開催)	河原井 檜山
スタッフ ミーティング(SM)	第2金曜日	9:00 ~12:00	法人活動を確認・点検し、次月の 企画を決定する	齋藤
ケース会議 (適宜開催)		13:00 ~	援助・支援を点検する	齋藤
広報情宣会議	第3金曜日	10:00 ~12:00	広報情宣に係る会議	齋藤
企画会議	第3水曜日	9:00 ~11:00	工房及び泉町ギャラリーの活動を 確認・点検する	菅原 筒井
	第3木曜日	9:00 ~11:00	拠点笠間の企画を検討する	檜山
	第4木曜日	10:00 ~12:00	拠点水戸の企画を検討する	河原井
事務連絡打合せ	第1金曜日	適宜	各拠点の事務に関する確認	—

VI. 広報・情宣

1. 定款に従い財務公告を行う。
2. 特定非営利活動法人茨城県精神障害地域ケア研究会と協働し、表 4 のとおり広報・情宣活動を行う。

表 4 広報情宣活動

広報情宣活動	担当
アニュアルレポートの発行	齋藤
季刊誌「花信風の発行	齋藤
広報誌「陽光」の発行	適宜
ギャラリーチラシ発行	筒井
ホームページ更新	高島

注1) 黄門まつり等を活用した情宣活動を行う。

注2) パンフレットを更新する。

注3) 賛助者募集活動に関しては、一定のプロジェクトといった具体的な形を検討する。

VII. 地域公益事業

表 5 地域公益事業活動

活動内容	担当
陶炎祭への参加	菅原
黄門まつりへの参加	鈴木
まちなかフェスティバルへの参加	筒井
渡里湧水群を生かす会への参加	齋藤

VIII. 渉外・研修派遣・連携

表 6～10 に示す各種団体等へ協力するとともに、適宜研修にスタッフを派遣する。

表 6 市町村自立支援協議会等

市町・部会		担当
水戸市	相談支援	河原井・鈴木
	他部会	(適宜)
笠間市	全体会	齋藤
	就 労	檜山・郡司
	相 談	鈴木・檜山

表 7 市町村こころの健康相談

市町	担当
笠間市(岩間)	高橋
笠間市(笠間)	齋藤

表 8 医療保健福祉団体

団体名	担当
茨城県精神障害者支援事業者協会	齋藤
水戸市精神保健福祉会	河原井・高松
笠間市福祉施設協働事業連絡協議会	檜山・郡司

表 9 地域団体

地域団体	担当
泉町 3 丁目商店会	筒井
渡里湧水群を生かす会	齋藤

表 10 学術団体

学術団体	担当
日本臨床心理学会	—
日本・病院地域精神医学会	—

IX. 研究・研修

1. 特定非営利活動法人茨城県精神障害地域ケア研究会と協働し、研究活動を行う。
2. 啓発研修会を企画・開催する。
3. 適宜研修受け入れを行う。

X. 月間計画

表 11 月間会議計画

週	月	火	水	木	金
第1週				10:00 運営会議 (各拠点)	10:00 事務連絡打合せ 13:00 事務
第2週					9:00 SM 13:00 事務 or ケース会議
第3週			9:00 企画会議 (作陶&G)	9:00 企画会議 (笠間)	10:00 広報情宣 午後:企画の日
第4週				10:00 企画会議 (水戸)	9:00 事務局会議 13:00 環境整備

XI. 年間計画 … 年間計画表 P18

表 12 年間会議及び広報情宣計画

月	日	理事会・評議員会等	企画等	広報情宣発行物
4	1	オールスタッフ ミーティング(ASM)		「花信風」
5	-		陶炎祭 4/29~5/5	
6	7	理事会		「陽光」
	23	定時評議員会		
7	-			アニュアルレポート
8	-		黄門まつり	
9	-			「陽光」
10	18	理事会		「花信風」
11	—		地域交流啓発事業	
12	14	ASM		「陽光」
1	-			「花信風」
2	-			
3	16	理事会・評議員会		「陽光」

注) 毎月、ギャラリーのチラシを発行する。

XII. 各事業体事業計画

表 13 事業分類

事業区分	社会福祉事業														公益事業
拠点区分	茨城県精神障害地域ケア研究所 「風(FOO)」							茨城県精神障害地域ケア研究所 「光(KOO)」							—
事業所名	総務本部	協働宿「空(COO)」	グループホーム「颯(SOO)」	精神障害地域ケア研究所 「風(FOO)」				笠間焼工房「陽(YOO)」	泉町ギャラリー「薫(YOO)」	精神障害地域ケア研究所 「光(KOO)」				子どもの問題研究所	
サービス区分	—	短期入所事業	共同生活援助事業	生活訓練事業	生活介護事業	一般相談支援事業	特定相談支援事業	地域活動支援センターII型	就労継続支援事業B型	(就労継続サテライト)	生活訓練事業	生活介護事業	特定相談支援事業	地域活動支援センターII型	—
事業種別	—	自立支援	自立支援	自立支援	自立支援	相談支援	相談支援	地域生活支援	自立支援	自立支援	自立支援	自立支援	相談支援	地域生活支援	—
指定・委託関係	—	茨城県指定【0811600212】	茨城県指定【0821600327】	茨城県指定【0811600212】 《多機能型、従たる事業所》		茨城県指定【0830100210】	水戸市指定【0830100210】	5市町委託(水戸・笠間・茨城・城里・小美玉)	茨城県指定【0811600212】 《多機能型、主たる事業所》				笠間市指定【0831600473】	笠間市委託・水戸市補助	—

B. 社会福祉事業

表 14 事業所基本事項

拠点 区分	茨城県精神障害地域ケア研究所 「風(FOO)」							茨城県精神障害地域ケア研究所 「光(KOO)」					
	事業所名	協働宿「空(COO)」	グループホーム「颯(SOO)」	精神障害地域ケア研究所 「風(FOO)」					笠間焼工房「陽(YOO)」	泉町ギャラリー「窯(YOO)」	精神障害地域ケア研究所 「光(KOO)」		
サービス区分	短期入所事業	共同生活援助事業	生活訓練事業	生活介護事業	一般相談支援事業	特定相談支援事業	地域活動支援センターII型	就労継続支援事業B型	(就労継続サテライト)	生活訓練事業	生活介護事業	特定相談支援事業	地域活動支援センターII型
定員	2	11	6	6	—	—	15	10		6	6	—	15
職員定数	管理者 1名		サービス管理責任者 1名		管理者 1名		施設長 1名	管理者1名 サービス管理責任者1名			管理者 1名	施設長 1名	
	世話人1名(6対) 生活支援員1名		訪問支援員1名 生活支援員1名(6対)	生活支援員1名(6対)	相談支援専門員1名		支援員2名	就労支援指導員1名 生活支援員1名 職業指導員1名	訪問支援員1名 生活支援員1名(6対)	生活支援員1名(6対)	相談支援専門員1名	支援員2名	
所在地	水戸市見和三丁目455番地の1 サテライト: 笠間市笠間1550番地の1		水戸市渡里町2844番地の5					笠間市赤坂17番地6	水戸市泉町三丁目2番11号	笠間市赤坂17番地6			

表 15 営業日及び営業時間

事業所名	営業日	営業時間
精神障害地域ケア研究所 「風(FOO)」	月～土 月間計画により日曜日	9:00～17:00 金曜日は15:00、土曜日は19:00まで
精神障害地域ケア研究所 「光(KOO)」	月～金 月間計画により土・日曜日	9:00～17:00 金曜日は15:00まで
笠間焼工房 「陽(yoo)」	月～金	9:00～16:00
泉町ギャラリー 「窯(YOO)」	火・水・木・土 月間計画により日曜日	10:00～17:00
協働宿 「空(COO)」	利用者との調整により別途作成	
グループホーム 「颯(SOO)」	無休	

表 16 精神障害地域ケア研究所「風(FOO)」月間計画

	月	火	水	木	金	土	日
第1週	地活 サテライト			運営会議	事務日		休館
第2週	地活 サテライト				SM		休館
第3週	地活 サテライト				広報情宣 企画の日		休館
第4週	地活 サテライト			企画会議	環境 整備		休館

注1) 地活サテライト (場所:「空(COO)」 時間:12:00～15:00)

- ・ GH入居者・地活登録者に対して、1週間の計画を確認するお茶会。

表 17 精神障害地域ケア研究所「光(KOO)」月間計画

	月	火	水	木	金	土	日
第1週				運営会議	事務日	休館	休館
第2週					SM	休館	休館
第3週			企画会議 (工房)	企画会議	広報情宣 企画の日	休館	休館
第4週					環境 整備	休館	休館

表 18 笠間焼工房「陽(yoo)」就労継続支援事業 B 型 週間計画

曜日 時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
9:30~	ミーティング					休館日	休館日
	作業	作業	創作・制作	作業	作業		
10:30~	休憩						
11:00~	作業	作業	創作・制作	作業	作業		
12:00~	昼休み						
13:00~	創作・制作	創作・制作	作業40分 休憩10分 作業40分	創作・制作	創作・制作		
	清掃、ミーティング						
14:30	終了						

表 19 泉町ギャラリー「窯(YOO)」週間計画

時間	営業 時間	スタッフ X	火曜日・水曜日・木曜日		土曜日 (日曜日)
			スタッフ A スタッフ B	メンバー A 班 メンバー B 班	メンバー (自主通)
9:00					
10:00		移動・準備	移動・清掃	移動・清掃	移動・清掃
11:00			A	A	
12:00			(移動)	(移動)	
13:00			(移動)	(移動)	
14:00		休憩	B	B	
15:00			(移動)	(移動)	
16:00					
17:00		整理			
18:00					
19:00					

注) 開店曜日: 原則 火・水・木・土 開店時間: 10:00~17:00

開店日については、月間計画により、毎月掲示。

表 20 「光(KOO)」及び「風(FOO)」週間計画

曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	
開館時間	光	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00	9:00~ 15:00	—	
	風	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00	9:00~ 15:00	9:00~ 19:00	
事業	地域活動支援センター 表 22・23 のとおり、「暮らし」「娯楽」「健康」等の課題について、個別支援計画に基づき実施する。							休館日(月間計画により開設)
生活訓練	表 24 のとおり、「作陶・販売」「自主活動」「学習」「研究・研修」等の課題について、個別支援計画に基づき実施する。							
生活介護								
相談支援	開館時間対応							
緊急電話相談	毎日 24 時間							

注) 土曜日は、「風(FOO)」のみ開設。「光(KOO)」は月間計画により土曜日開設。

表 21 2拠点と4部門

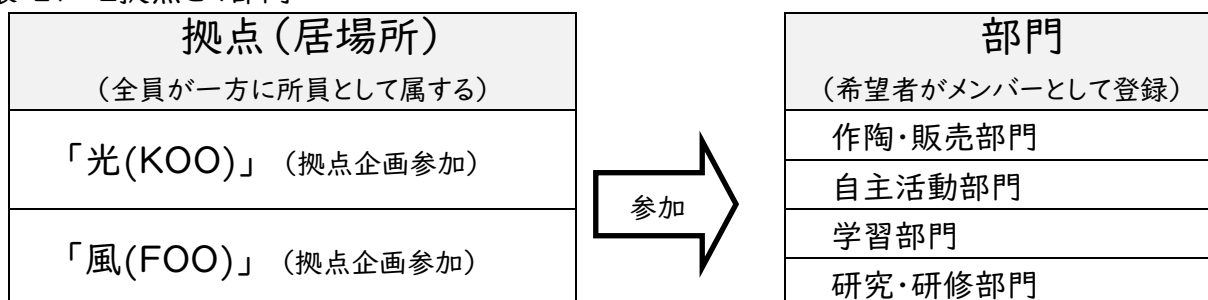


表 22 「光(KOO)」企画

大分類	企画例	内容の例
暮らし	年中行事	日本の伝統文化に即した行事
	食事会	仲間関係の構築
	飲茶・いっぶく喫茶	喫茶店に出かけ、「お茶」を楽しむ
	社会資源調査団	自分に関係する社会資源を調べる場
	防災	防災の映像を見て、災害に備える
娯楽	遊びの盛	オセロやトランプ、将棋等ゲームを楽しむ
	赤坂キネマ	映画観賞会
健康	月美庵	身体について学ぶ場
	体操	ラジオ体操や不調の相談等の活動
	ウォーキング	木曜日に軽い運動

表 23 「風(FOO)」企画

分類	企画例	内容の例
くらし	年中行事	日本の伝統文化に即した行事
	食事会	仲間関係の構築
	飲茶・いっぷく喫茶	喫茶店に出かけ、「お茶」を楽しむ
	地活サライト茶会	1週間の生活リズムをつける場
	社会資源調査団	自分に関係する社会資源を調べる場
	防災	防災の映像を見て、災害に備える
	話をする・聞く	テーマに沿った自分の話をし、聞く場
娯楽	G&M	Game & Music
	LW	ランチウォーキング
健康	身体	身体について学ぶ場
	ココカラダ	「心と体を一緒に動かそう!」
	歩くんです	千波湖等を歩こう

表 24 部門別の活動（原則個別給付）

部門名	分類	2023年度企画名	内容等
作陶・販売	工房活動	作陶	オカリナ等の作陶活動
		創作	創作活動
	ギャラリー活動	ギャラリー対応	泉町ギャラリー対応
		GMM	ギャラリーメンバーミーティング
	体験・学習	芸術の杜	笠間や益子の店を訪れ、体験・学習
自主活動	クラブ活動	一寸其処迄	「風(FOO)」近辺を散歩するクラブ
		映ルンです	写真を楽しむクラブ
		クラシック倶楽部	クラシック音楽を鑑賞する
		お針子さん	手芸をするクラブ
		サロン・ド・テ・FOO	女性限定で会話やお茶を楽しむ
	協働企画 (活動)	クラフト(新)	クラフトワーク
		音読会	小説や詩を輪読する会
		永遠美の会	女性同士での話し合いや様々な体験
		片づけを考える会	写真を見せあい、「片付」を考える
	協働企画 (ミーティング)	はばたけ母ちゃんの会	病気や障害を抱える子どもを持つ母の集い
		老気横秋	人生の仕舞い方について考える場
		男はつらいよ	パートナーがいる男性の「自立」
旧:男の会		男のユーザーだけのミーティング	
学習		アドラーに学ぶ生き方	アドラーの本から、生き方を考える
		ストレス対処	ストレスへの対処方法に関する勉強会
		「私のノート」	自分の得意・不得意を知る
研究・研修		ヒアリング・ヴォイシズ	「幻聴」や「妄想」を共有、対応を考える
		当事者研究	当事者の生きづらさを研究する
		カミングアウト	病気や障害についての理解促進

表 25 月間会議計画

週	月	火	水	木	金
第1週				10:00 運営会議 (各拠点)	10:00 事務連絡打合せ 13:00 事務
第2週					9:00 SM 13:00 事務 or ケース会議
第3週			9:00 企画会議 (作陶&G)	9:00 企画会議 (笠間)	10:00 広報情宣 午後:企画の日
第4週				10:00 企画会議 (水戸)	9:00 事務局会議 13:00 環境整備

表 26 会議の説明

会議名	内容	参加者
運営会議 (注1)	拠点の運営を全員で協議	所員
		笠間:檜山・郡司・松田・諏佐・ 高橋・菅原・筒井
		水戸:河原井・高松・宇梶・野中 松本・鈴木・川島
事務連絡打合せ	常勤スタッフの事務連絡	檜山・郡司・鈴木 河原井・高松・松本
SM	本部・子ども研・各事業内容の確認 個別給付額の確認 計画相談の調整	全スタッフ (客員陶芸家を除く)
ケース会議	援助・支援内容の点検 (必要に応じて)	全スタッフ (客員陶芸家を除く)
企画会議 (注2)	工房及びギャラリー企画検討	菅原・筒井・栗原・栗林
	笠間拠点の企画検討	檜山・郡司・松田・諏佐・高橋
	水戸拠点の企画検討	河原井・高松・宇梶・野中・松本・川島
広報情宣会議	広報情宣内容の検討	檜山・河原井・高松・川島 郡司・齋藤・高島
事務局会議	法人運営に関する検討 (理事)	高島・齋藤・杉山・鈴木・松本 菅原・檜山・河原井

(注1) 会議イメージは次のとおりだが、各拠点の実情により適宜変更する。

出入り自由。ホワイトボード使用。資料は作成せず、前月と当月の計画表を使う。

(注2) 各スタッフが、次々月の企画を考えてきて集まり、企画立案。

表 27 社会福祉事業職員一覧

事業・業務 所属・氏名		業務別職名				
		就労継続 支援 B 型	生活介護 生活訓練	短期入所、 共同生活援助	相談支援	地域活動 支援センター
工房「陽(yoo)」	菅原 淳一	工房長 職業指導員	—	—	—	—
	筒井まり子	ギャラリー店長・ 就労支援 事業指導員	—	—	—	—
	栗原 徹	就労支援 事業指導員	—	—	—	—
	栗林 礼子	就労支援 事業指導員	—	—	—	—
光(KOO)「風(FOO)」 空(COO)「颯(SOO)」	鈴木 宗夫	—	精神保健福祉士 訪問支援員	精神保健福祉士	管理者(笠間) 相談支援専門員	生活支援員
	松本 直行	—	精神保健福祉士 訪問支援員	精神保健福祉士	管理者(水戸)	生活支援員
	檜山 郁	—	精神保健福祉士 訪問支援員	精神保健福祉士	相談支援専門員	「光(KOO)」 所長
	河原井まゆみ	—	精神保健福祉士 訪問支援員	精神保健福祉士	相談支援専門員	「風(FOO)」 所長
	郡司 功	生活支援員	社会福祉士 訪問支援員	社会福祉士	—	生活支援員
	高松 由加	—	生活支援員 訪問支援員	生活支援員	—	生活支援員
	宇梶 孝	—	精神保健福祉士	精神保健福祉士	—	生活支援員
	高橋 寿子	—	精神保健福祉士	精神保健福祉士	—	生活支援員
	松田真紀子	—	生活支援員	生活支援員	—	生活支援員
	野中 美保	—	生活支援員	生活支援員	—	生活支援員
	川島 麻子	—	精神保健福祉士	—	—	生活支援員
	諏佐かづ子	—	看護師	—	—	—
本部	高島 真澄	—	精神保健福祉士	管理者 精神保健福祉士	—	生活支援員
	斎藤 悟	管理者 サビ ^レ 管理責任者	管理者 サビ ^レ 管理責任者	サビ ^レ 管理責任者	—	—
	杉山真理子	—	生活支援員	生活支援員	—	生活支援員

注1) 「陽(yoo)」の就労支援事業指導員は、全員陶芸家である。

C. 公益事業

2024 年度

子どもの問題研究所事業計画(案)

1 事業目的

「子どもの問題研究所」(以下、「子ども研」)は、人の生涯にわたって生じる精神的課題への対処方略として、幼少期からの「子育て・子育て」援助・支援を位置づけ、2003 年の設立当初より子どもの主体性と自由性を主軸においた具体的、実践的活動を継続してきました。これと相まって、人が共に地域の中で育つことのできる社会の創造に寄与する課題を提言してきました。

現代の多くの母親は、核家族化、少子化の時代状況の中で育ち、幼い頃から具体的な子育てに触れる機会がないまま成長しています。しかも人間関係がほとんど解体した地域社会の環境の中で子育てをせざるを得ません。スマホに依存した子育ては場当たりので、子どもの将来的な発達が見通せません。それによって子育てで不安や孤立感を抱く母親が増加し、頻発している児童虐待の心理的背景になっています。精神的課題を抱える母親を支える「ヤングケアラー」とよばれる子どもの存在も知られるようになってい

ます。
学校教育現場においては、「いじめ」や不登校児童・生徒の増加、貧困家庭や発達障害児への対応の課題が深刻化しています。

このような状況に対処するため、「子ども研」は課題を抱える母親への子育て援助・支援、心理・教育相談に関する学校教育現場へのスーパービジョン、また「茨精研ICCAM」と協働での研究活動を通し、「子育て・子育て」援助・支援課題に係る事業を継続してきました。

2024 年度は、様々な社会状況を踏まえ、公益事業としての「子ども研」のあり方を整理します。

2 事業内容

1) 相談員派遣事業

2023 年度に引き続き、笠間市、桜川市、行方市、潮来市において実施する乳幼児健康診査(以下、健診)に相談員を派遣し、子どもの発達課題や保護者の抱える子育て課題への早期対応、個別の育児相談を実施します。

2024 年度は、引き続き各市においてコロナ後を見据えた健診の在り方や「子育て・子育て」援助・支援の課題を保健師とともに検討していきます。

健診を経て発達に課題があることを指摘された子どもの療育の場である、「日立市さくらんぼ学級」における支援員へのスーパーバイズ及び保護者研修会講師としての対応は、継続の方向で検討します。

療育の現場でも、実施回数や参加人数が制限されています。支援者にとってはその状況の中で援助・支援の質を維持するための努力が求められ、親にとっても子どもと家にいる時間が長くなり、子育てへの負担感が増しています。療育の場が「子育て・子育て」援助・支援にとって必要性の高い場になっているかを実感しています。

2) 学校教育相談、児童・生徒指導支援活動

リリー文化学園リリーベール小学校へスクールカウンセラー派遣は、終了し、課題を整理します。

3 「子ども研」の運営

1) 所在地

水戸市見川 1 丁目 1183 番地の 2 メゾン・ド・リヴィエールB102

2) 「子ども研」開設日

原則として、毎週水曜日及び土曜日午後。ただし、留守電及び FAX による対応は随時行う

3) 「子ども研」運営会議

原則として、月 1 回

4) 職員

職名	氏名	所属・資格等
所長	高橋 寿子	精神保健福祉士・レクリエーションコーディネーター 市乳幼児健康診査等相談員派遣対応
主幹相談員	高松 由加	常磐大学学生相談 市乳幼児健康診査等相談員派遣対応